

3. 生産

平成22暦年の経済活動別（産業別）のGDP構成比をみると、第1次産業のシェアは1.2%となり、横ばいとなった。
 第2次産業のシェアは、建設業のシェアが低下したものの、製造業のシェアが上昇したことから、25.2%となり3年ぶりの上昇となった。
 第3次産業のシェアは、サービス業などのシェアが低下したことから、73.6%となり3年ぶりの低下となった。

経済活動別（産業別）GDPの構成比（名目）

	(%)					
	17暦年 2005	18暦年 2006	19暦年 2007	20暦年 2008	21暦年 2009	22暦年 2010
1. 産業	89.0	88.9	89.0	88.8	88.3	88.7
（1）農林水産業	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2
（2）鉱業	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
（3）製造業	19.9	19.9	20.3	19.9	17.8	19.5
（4）建設業	5.8	5.9	5.8	5.7	5.8	5.6
（5）電気・ガス・水道業	2.3	2.2	2.0	1.9	2.4	2.3
（6）卸売・小売業	14.9	14.3	13.7	14.1	13.7	13.5
（7）金融・保険業	6.2	6.0	6.0	5.0	5.1	4.9
（8）不動産業	10.8	11.0	10.9	11.3	12.2	11.9
住宅賃貸業	9.6	9.7	9.6	9.9	10.7	10.5
その他の不動産業	1.2	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5
（9）運輸業	4.9	5.1	5.2	5.1	4.9	4.9
（10）情報通信業	5.2	5.3	5.3	5.5	5.6	5.5
（11）サービス業	17.7	18.0	18.4	19.0	19.6	19.3
2. 政府サービス生産者	9.1	9.1	9.0	9.2	9.6	9.2
3. 対家計民間非営利サービス生産者	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業(農林水産業)	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2
第2次産業(鉱業、製造業、建設業)	25.8	25.9	26.2	25.6	23.7	25.2
第3次産業(その他)	73.0	72.9	72.7	73.3	75.2	73.6

(注1) 住宅賃貸業の生産額には、持ち家の帰属家賃（持ち家を賃貸と同様のサービス生産と考えること）を含む。

(注2) 上記は、産業別付加価値の合計（国内総生産（GDP）とは異なる）に対する構成比である。

図3-1 経済活動別(産業別)GDP構成比(名目)の推移

(暦年)

